

## 平成17年度第2回国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会 議事要旨

1. 日時・場所：平成17年6月29日（水）10：30～13：00

航空会館801号会議室

2. 出席者：

（検討会委員）：森田委員、上野委員、岡田委員、高橋委員、箱崎委員、花岡委員、平田委員、山里委員、横山（尚）委員、横山（裕）委員

（環境省）：環境保健部長、環境リスク評価室長ほか

（オブザーバー）：茨城県、茨城県神栖町

3. 議事概要

（1）議題1「掘削エリア西側のボーリング調査結果等について」

事務局より資料3に基づき、神栖町汚染源掘削エリアの西側矢板の外隣接部分にて行ったボーリング調査結果の説明を行った。今後の対応として、矢板から2m程度の範囲内において、点在する形で高濃度ヒ素を含むコンクリート様の塊等が存在している可能性が高いため、矢板から3mまでの範囲を掘削して、コンクリート様の塊等を撤去することが確認された。

（2）議題2「神栖町における地下水汚染メカニズム解明調査中間報告書のとりまとめについて」

事務局より資料4～6に基づき、神栖町における地下水汚染メカニズム解明調査中間報告書（案）について説明を行った。中間報告書第3章中、ジフェニルアルシン酸等の分析方法の記載等について、修文意見があり、意見に沿って修正することとされた。また、第8章中、ジフェニルアルシン酸の製造・保有情報について、修文意見があり、検討委員による議論の結果、一部の表現について修文することとなった。なお、茨城県及び神栖町からは意見書が提出された。

（3）議題3「B/C事案の環境調査の進め方について」

事務局より資料7に基づき、環境調査等が必要なB/C事案等の対応方針について説明を行い、今後の環境調査等について対応方針に沿って行うことが確認された。

（4）その他

事務局より資料8に基づき、習志野演習場周辺における地下水調査の結果について、毒ガス関連物質による地下水汚染が認められなかった旨の報告を行った。